

# 台風研究のさきがけ

堀口由己

ほりぐちよし  
み

1885-1959



上保村(現在の本巢市上保)出身。東京大学理学部卒業後、気象観測の道に進み、津測候所長、神戸観測所長を経て、大正9年にはじめて神戸海洋気象台が設置されると、技師としてつとめました。

台風に関する研究で学士院恩賜賞受賞し、理学博士となり、台風研究の先駆けとなりました。大阪・神戸の気象台長を歴任し、シンガポール司政長官もつとめました。

数寄屋建築の研究者で建築家の堀口捨己は実弟です。